

平成26年5月 データから見た業界の動き

■ 概 況

情報連絡員による県内の5月の業況報告は、4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減の影響が製造業を中心に大きく残った。

製造業では、燃料や原材料等の高騰により利益確保が難しく、設備投資に経営マインドが向かない状況にある。

非製造業も、仕入れコストや運賃の上昇分を販売価格に転嫁できない状況が続いている。

また、消費税率の引き上げに伴う消費マインドの低下から買い控えもあるが、首都圏や海外からの観光客の増加等、一部には明るい兆しもみられる。

中小企業においては、景気動向が上向いているといわれているが、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動の影響と燃料高や原材料高等のコスト高が重なる状況になっており、依然として収益の改善が足踏み状況にある中小企業の動向を注視する必要がある。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製 造 業

食料品（水産物加工）	消費税増税前の駆け込み需要の反動から結婚式用の食材が大幅に減少。また、ギフト関係も低調のため全体の売上は前年同月比80%。
食料品（洋菓子製造）	OEMは低調だが、自社製品が健闘し売上は前年同月比92%。また、原料高が続いているため収益難。
食料品（製麺）	ゴールデンウィーク等の観光客向けの土産品の売上に期待したが、ガソリンや高速道路料金の値上げにより期待はずれの結果となった。
食料品（菓子）	原材料が高騰しているが、価格転嫁できず非常に厳しい状況にある。
繊維・同製品（アパレル）	下請加工からの脱却（製造直販）ができないでいる組合員が多い。
窯業・土石（砂利）	時期的に需要減。燃料費が増加傾向にある。
窯業・土石（山碎石）	2月の大雪による工期の延期や経済対策による工事の継続施工により年度切替の不服感はない。電気、燃料、鉄鋼、ゴムなどの諸資材の高騰により利益率は下降気味であり設備投資ができない状況が続いている。
鉄鋼・金属(1)	8月までの受注は確保しているが、年度後半の受注は未定。
一般機器(1)	親会社の発注が増加傾向にあるが、受注単価が低いため利益難。
電気機器	建設関連や自動車関連は増税後も受注量が増加傾向にあるが、電子機器や半導体、白物家電などは受注減が続いている。医療機器は不変。
その他(貴金属①)	消費税率の引き上げの影響からか多少売上が落ちた。組合員の中でも小売りに近い業者ほど落ち込みが大きい。
その他(貴金属②)	消費税率の引き上げの影響から買い控えがある。

● 非製造業

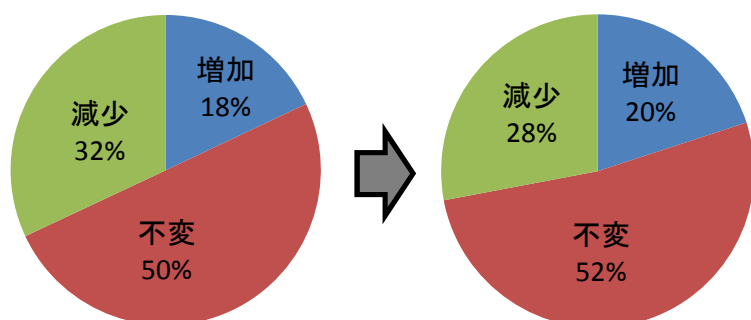
卸売（塗料）	輸送賃が若干上昇傾向にあるが、価格転嫁できない。
小売（青果）	青果物の荷動きは、先月に続いて活発なため、売上高も増加傾向。
小売（食肉）	豚の流行性下痢の発生により価格が上昇、牛肉も高値で推移。消費税率の引き上げも重なり、価格転嫁できず収益は更に悪化傾向にある。
小売（水産物）	消費税率引き上げの影響によりゴールデンウィーク商戦は低迷。また、仕入価格の値上がりが続いている。
小売（電機製品）	消費税率引き上げの影響により4月に続き5月の売上も量販店、地域店共に減少した。
小売（石油）	消費税率引き上げによる高値感や省燃費車の増加にともなう需要減により各ガソリンスタンドの販売量は減少した。
商店街(1)	商店街に2店舗新規に開店した。ゴールデンウィーク等があったが来街者は減少。
商店街(2)	中央道集中工事もあり観光客の減少や消費税率引き上げによる買い控えが続いていると思われる。物販の落ち込みが著しい。
不動産取引	土地の問い合わせ件数が増加傾向にあるが、中古住宅の市場は停滞。
宿泊業(1)	ゴールデンウィークは、消費税率引き上げや休日の並びの悪さから満室は2日間であった。また、ガソリンや高速道路の通行料金の値上げにより首都圏からの観光客は費用が安く、距離が近く、日帰りもできるため増加した。
宿泊業(2)	富士山世界文化遺産登録や桃の花見等、海外からの観光客が多かったように感じる。
美容業	入店客数に大きな変化はなく、売上、客単価ともに低下している。
警備業	建設会社が公共工事の工事設計で算出している交通誘導員の労務単価を自社の利益の一部としているため、労務単価が上昇していない。また、労務単価が押さえられているため警備員の社会保険への全員加入が難しい。雇用人員が減少傾向にある。
建設業（住宅関連）	雪害による屋根等の補修工事依頼が増えているが廻り切れず、職人や資材不足のため工事の遅延が発生している。
建設業（鉄構）	山梨は公共の建築物の発注が全く無い。価格は上昇傾向にあるが、材料の値上がりにより収益難となっている。
設備工事（電気工事）	5月に入り工事量は落ち込んできた。消費税の駆け込み需要、大雪の影響での工期の遅延もなくなり人手不足などの声も聞かなくなった。公共工事も年度始めのため、発注が少ない。今年度の発注予想も昨年に比べると減少傾向にあるため先行き不透明である。
設備工事（管設備）	学校関係の改築や空調設備工事等の公共工事が顕著である。しかし、消費税率引き上げの影響から新築工事やリフォーム等の民間工事の減少が続いている。
運輸（タクシー）	売上は、稼働率が良かったため前年同月比より増加。
運輸（バス）	昨年からバス運転手の求人募集をしたが、反応がなく人手不足が深刻化している。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

対前年・前月・当月	製 造 業			非 製 造 業			合 計		
	2013/5	2014/4	2014/5	2013/5	2014/4	2014/5	2013/5	2014/4	2014/5
売 上 高	-20	-25	-15	-10	-23	-3	-14	-24	-8
収 益 状 況	0	-25	5	-17	-30	-23	-10	-28	-12
景 況 感	-15	-35	-20	-13	-20	-10	-14	-26	-14

※((良数値÷対象数)×100) - ((悪数値÷対象数)×100) = D.I 値

売上高（前年同月比）

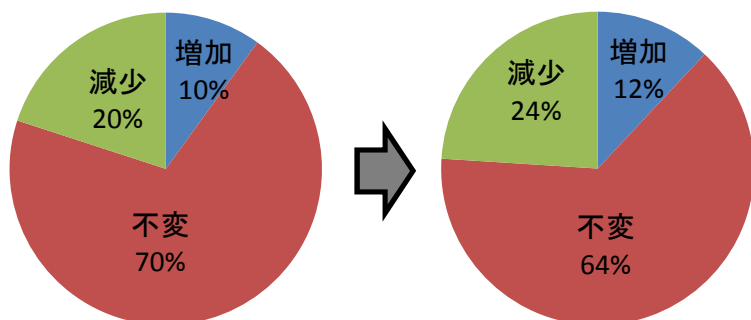


平成25年 5 月 調査

平成26年 5 月 調査

- ・ D I 値▲ 8（前年同月比+ 6）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲15(前年同月比+ 5)
 - 非製造業 ▲ 3(前年同月比+ 7)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 10ポイント改善
 - 非製造業 20ポイント改善

収益状況（前年同月比）

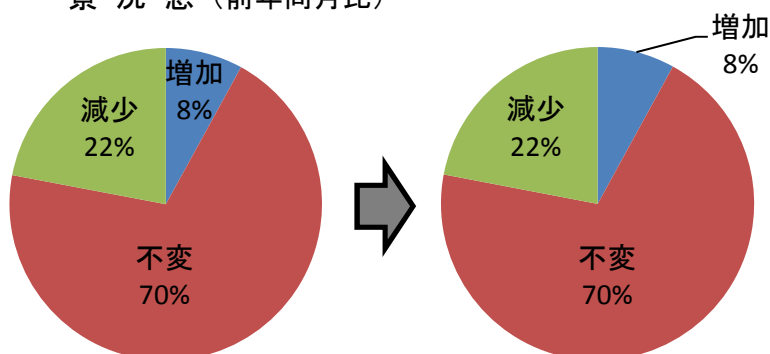


平成25年 5 月 調査

平成26年 5 月 調査

- ・ D I 値▲12（前年同月比▲ 2）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 + 5(前年同月比+ 5)
 - 非製造業 ▲23(前年同月比▲ 6)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 30ポイント改善
 - 非製造業 7ポイント改善

景況感（前年同月比）



平成25年 5 月 調査

平成26年 5 月 調査

- ・ D I 値▲14（前年同月比± 0）
- ・ 業種別 D I 値
 - 製 造 業 ▲20(前年同月比▲ 5)
 - 非製造業 ▲10(前年同月比+ 3)
- ・ 前月比 D I 値
 - 製 造 業 15ポイント改善
 - 非製造業 10ポイント改善